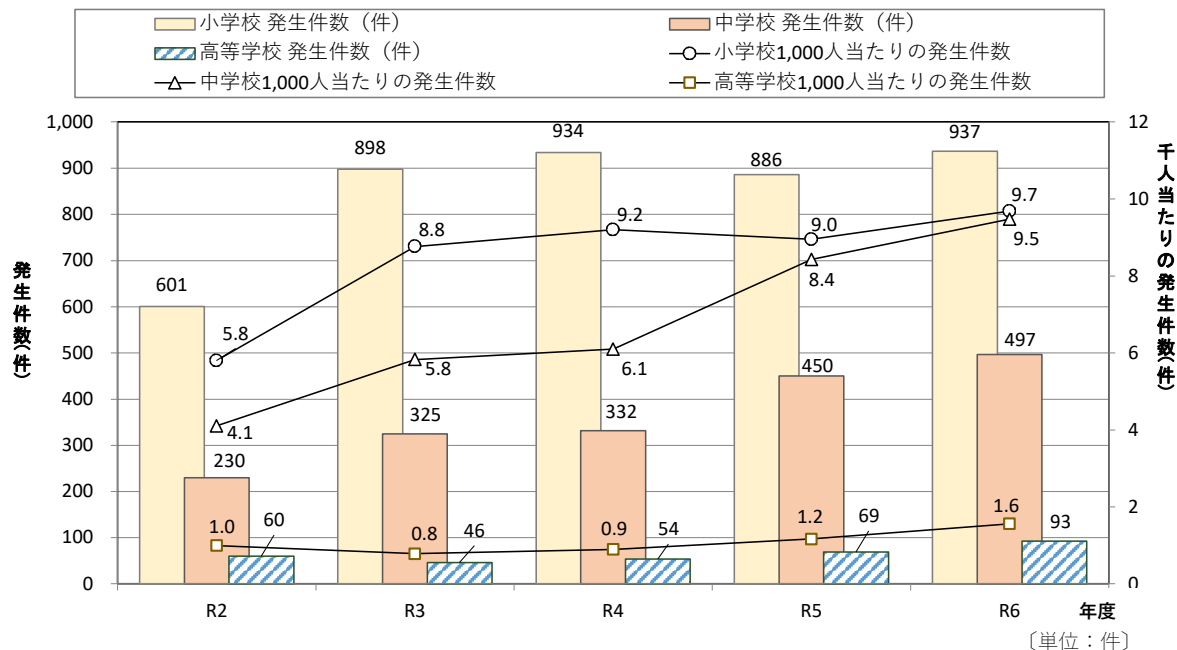


- 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は1,527件（前年度1,405件）であり、前年度から122件増加。児童生徒1,000人当たりの発生件数は7.3件（前年度6.6件）である。
- 全校種において暴力行為の発生件数が増加。内容別では生徒間暴力が最も多い。
- 増加の背景として、暴力行為の見取りをより精緻に行っていること、活動がコロナ禍以前に戻り、接触機会が増加したこと等が考えられる。

1 校種別発生件数及び1,000人当たりの発生件数の推移



年 度		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	発生件数	601	898	934	886	937	
	前年度増減	▲ 70	297	36	▲ 48	51	
	1,000人当たりの発生件数	県	5.8	8.8	9.2	9.0	9.7
		全国	6.5	7.7	9.9	11.5	13.8
中学校	発生件数	230	325	332	450	497	
	前年度増減	▲ 80	95	7	118	47	
	1,000人当たりの発生件数	県	4.1	5.8	6.1	8.4	9.5
		全国	6.6	7.5	9.2	10.4	12.6
高等学校	発生件数	60	46	54	69	93	
	前年度増減	▲ 26	▲ 14	8	15	24	
	1,000人当たりの発生件数	県	1.0	0.8	0.9	1.2	1.6
		全国	1.2	1.2	1.3	1.7	1.8
合計	発生件数	891	1,269	1,320	1,405	1,527	
	前年度増減	▲ 176	378	51	85	122	
	1,000人当たりの発生件数	県	4.1	5.8	6.2	6.6	7.3
		全国	5.1	6.0	7.5	8.7	10.4

(注) 調査対象校：県内国公私立・小中高等学校(通信制含む) 671校

2 校種別・内容別発生件数

[単位：件]

校種	対教師暴力			生徒間暴力			対人暴力			器物損壊			合計		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
小学校	232	144	112	611	643	702	3	4	10	88	95	113	934	886	937
中学校	29	31	25	218	284	348	1	6	7	84	129	117	332	450	497
高等学校	0	7	6	38	43	56	0	4	2	16	15	29	54	69	93
計	261	182	143	867	970	1,106	4	14	19	188	239	259	1,320	1,405	1,527

(注1) 調査対象校：県内国公私立・小中高等学校(通信制含む) 671校

(注2) 「器物損壊」は、学校の管理下で起きた場合のみを集計

